

岐阜市立女子短期大学

CeNCER

(地域連携センター)

開所式



Center for Network Community
with Education and Research

2022年6月1日

開所式次第

1. CeNCER開所宣言（畑中学長）
設立趣旨・活動理念
2. CeNCER概要説明（服部センター長）
 - 1) CeNCERとは？
 - 2) 活動方針・計画
 - 3) CeNCERメンバー紹介
 - 4) これまでの実績および事例紹介
 - 5) 新たな案件紹介
3. 活動告知（鈴木委員）
4. 質疑応答（服部センター長）
5. 閉会の挨拶（畑中学長）

1. CeNCER開所宣言

設立趣旨

CeNCERは、
岐女短と地域が新たなネットワークを創出するための組織

(過去)

岐女短: 昭和21年の発足以来、17,000人以上の卒業生を輩出
主に教育機関として人材育成による地域貢献

(今後)

これに加え、CeNCERでは、

- ・活動: 持続可能な地域社会を目指して、地域の課題の発見・解決に向け、地域と協働して組織的な活動を行う
- ・仕組み: 岐女短(教員+学生)+地域の主体(産官民の連携先)

(これまでに培ってきたネットワークをより強固なものとし、さらに新たなネットワークを構築しながら、地域に根ざした大学としての性格を強めるための活動を行います)

活動理念

“日常の傍らや近い未来の社会課題を、
地域発展の糸口へと転換すること”

劇的な変化を続けている(VUCA)社会の未来を予言し、これに向けて活動する存在よりも、

- ・身近にある事象に目を向け、丁寧に接しながら
 - ・近い未来の豊かな社会を実現する糸口を見つける
- その活動の主体となることを目指す。

(日常の傍には、目に見えている困難、予期せぬ自然災害への備えなど、さまざまな課題が存在します。それらに対処する、あるいは備えておくことは、幸福度の高い社会の生活(近い未来の豊かな社会)の実現につながります)

2. CeNCER概要説明

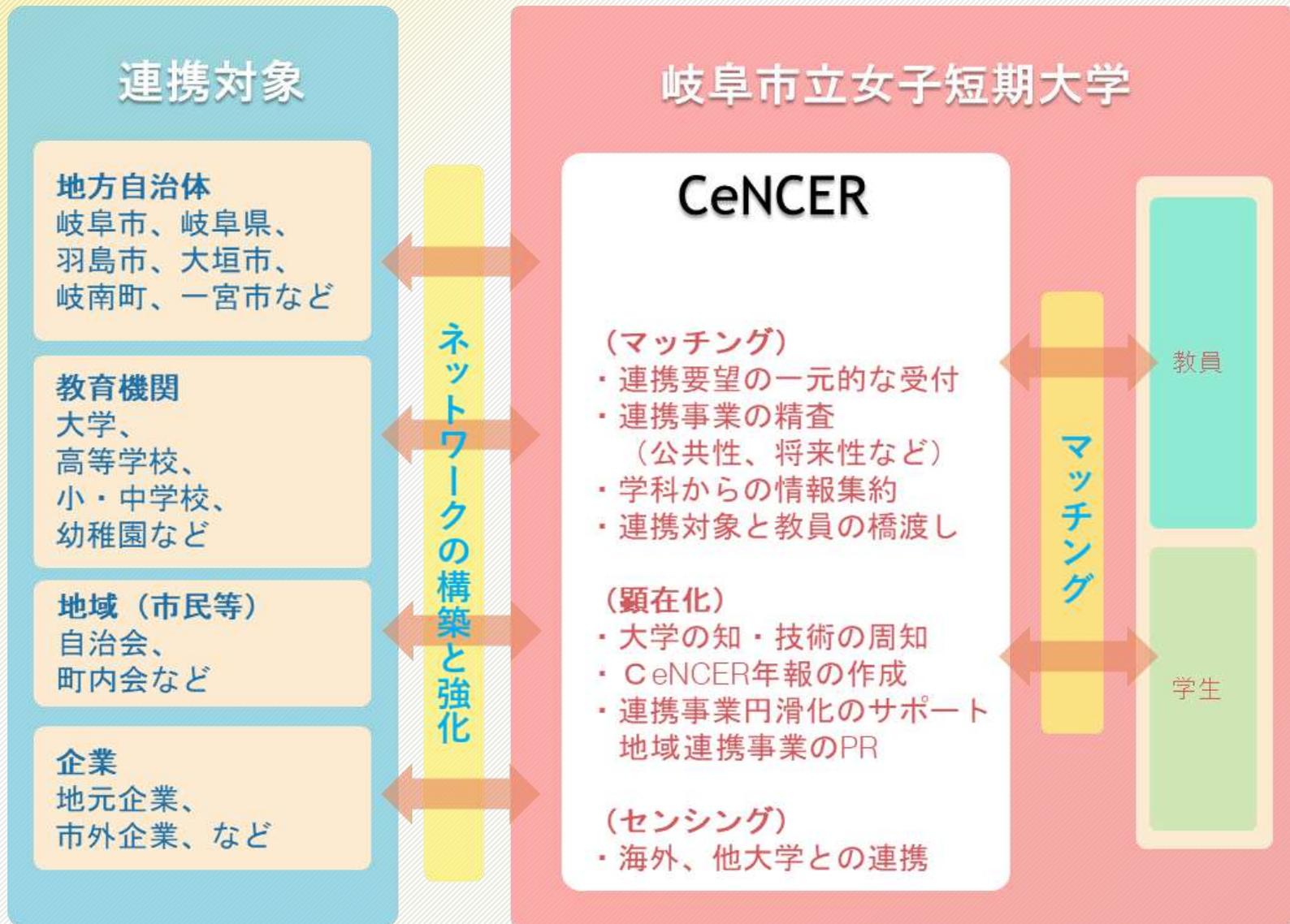
1) CeNCERとは？

What means “ **CeNCER** “ ?

Ce	Center	拠点 , ハブ
N	Network	繋がり , ネットワーク
C	Community	地域
E	Education	教育
R	Research	研究

Center for Network Community
with Education and Research

1) CeNCERとは？



2) 活動方針・計画

研究・教育・社会貢献は、岐女短の全教職員が行います。

CeNCERは、それらを包括的に捉え、社会との連携が円滑に進むように支援します。

また、岐女短は、地域連携に際し次の4つの視点を大切にします。

1. 公益性、公共性の重視
2. 研究資源の社会活用
3. 地域連携活動と研究活動との循環
4. 女性活躍社会に向けた経験に基づく深い学び

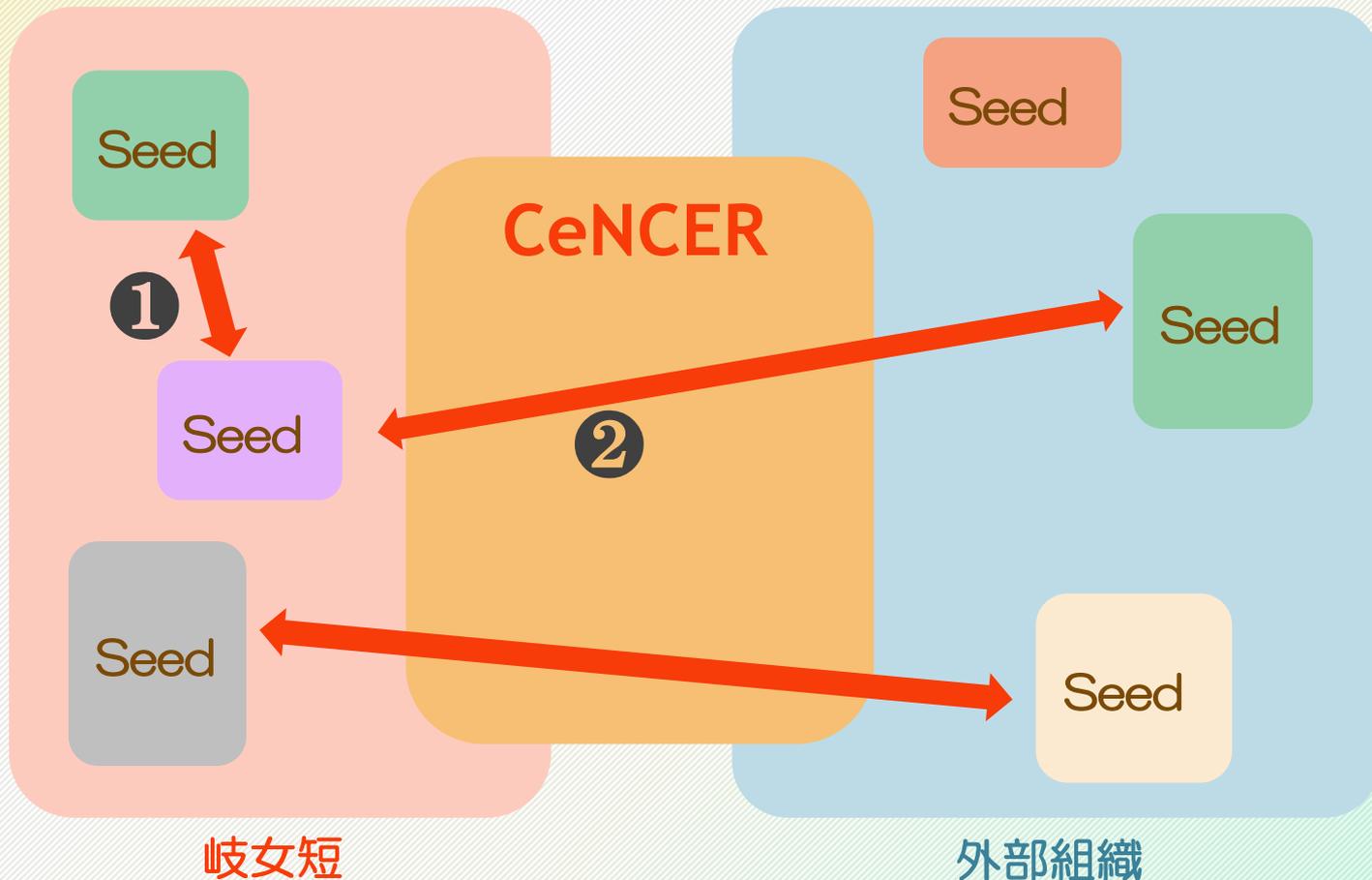
2) 活動方針・計画

マッチング

多分野の研究者による、**分野横断型の連携**を支援する**ハブ**となります

① 岐女短内の人材の紹介

② 外部の人材の紹介



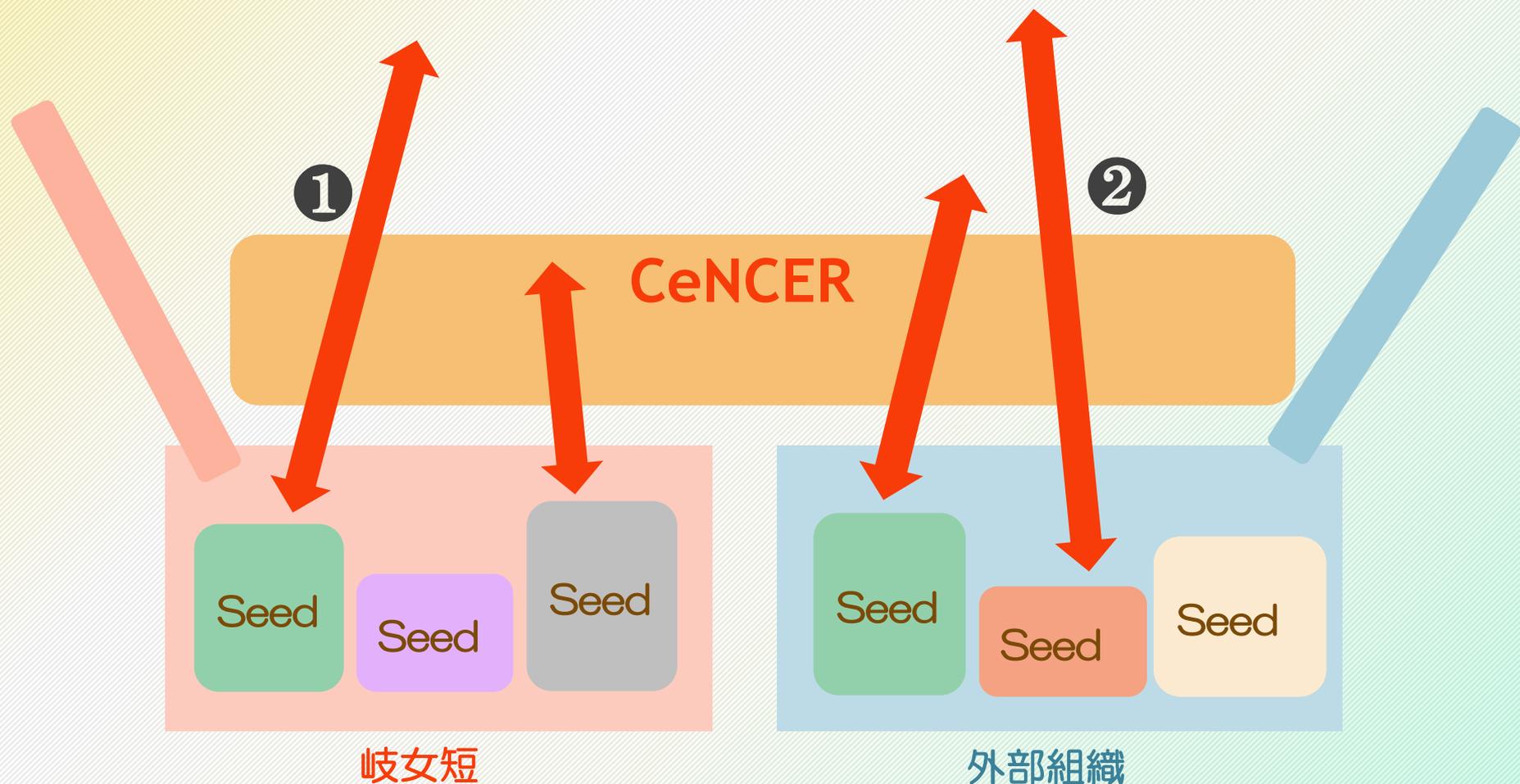
2) 活動方針・計画

顕在化

学外からは見えづらくなっている**大学研究者のシーズ**を顕在化し、**外部の方がアクセスしやすい環境**を作り**連携を促します**

① 岐女短の人材の顕在化

② 外部の人材の顕在化



2) 活動方針・計画

2022年度 活動計画

○新規案件のマッチング

- ・地域貢献講座他
- ・海外連携

○顕在化

- ・シーズ集の更新・活用
- ・岐女短の歴史・活動紹介
- ・Webサイトの充実
- ・公式Instagram



CeNCER Webサイト

3) CeNCERメンバー紹介

センター長	生活デザイン学科	服部宏己
副センター長	生活デザイン学科	臼井直之
委員(メンバー)	英語英文学科	鈴木辰一
	国際文化学科	王 張璋
	食物栄養学科	長屋 郁子
	事務局	池戸弘一
		伊藤瓢介

4)これまでの実績および事例紹介

2020年度連携・交流事業(地域交流年報より抜粋)

- ・「英語音声学入門」模擬授業
- ・(公益財団)岐阜市国際交流協会との共催事業
- ・ぎふし男女共同参画情報誌「織」第18号の企画編集
- ・高大連携事業「中国文化論」
- ・中国語合同発表会
- ・令和2年度 多職種メディカルケアチーム医療教育
- ・アクティブ G「健康メニューフェア」
- ・「かがしまルシェ」ワークショップ
- ・市役所南庁舎のウィンドウでの衣装作品展示
- ・こよみのよぶね 2020 4 月行灯制作と参加
- ・『明智光秀』学生考案デザイン制作参加作品展示
- ・岐阜市役所新庁舎 授乳室の壁画制作
- ・岐阜市保健所地域保健課との連携事業
～自殺対策啓発のためのキャラクターデザイン
- ・CAPIC 企画・ブランド展開

4)これまでの実績および事例紹介

アクティブ G 「健康メニューフェア」

アクティブG内の飲食店と岐阜市健康増進課とで協働してメニュー開発した「健康メニューフェア」を開催



4)これまでの実績および事例紹介

岐阜市役所新庁舎 授乳室の壁画制作

岐阜市役所新庁舎1階の授乳室および通路空間の壁画を、
教員および学生有志で制作



4)これまでの実績および事例紹介



「かがしマルシェ」 ワークショップ

高齢者が集まるお寺（鏡島弘法）
で若者に人気のマルシェ（かがし
マルシェ）への協力・提案

4)これまでの実績および事例紹介

働く人の強い味方

産業カウンセラーの丸山 悟さんに聞きました!

私の仕事はカウンセラーですが、女性の方が圧倒的に多い職種です。女性の方が向いていると言われているが、私自身自分に合わせていると思っています。どのような職業であっても、性別にとらわれずに、自分の長所や強みを活かすことができるかという視点が重要ですよ。

そのためには自分にきちんと向き合い、自分の事を知ることが大切です。

また、チームワークを必要とする仕事の場合は、自分の苦手なことや不得意なことがあっても、一人で抱え込むのではなく周りの得意な人に助けを求めれば大丈夫です。

今聞かれている多様性が職場に根付けば、各自が能力を発揮して「自分らしく働く」ことができるのではないのでしょうか。

織

ぎふし男女共同参画情報紙

2022 VOL.19

特集

自分らしく働く!

新情報紹介

岐阜市女性センター情報コーナーの おすすめ図書をご紹介します!

こどもジェンダー

シオリーズ (大貫詩織) 著
クニエタカ 次刊

「オトコノコなのになぜプリンセスを好きなのよ、かん?」
「オコシカワいよ、なに?」
「いまでもと一緒(考えたい)ジェンダー」セクシュアリチにまつわる36の質問。
みな「知らず」に書き込まれる社会について、一緒に考えてみませんか?

仕事、人間関係の悩みがスッと軽くなる! 「織姫さん」の知恵袋

武田友紀 著
株式会社マガジンハウス

「織姫さん」とは、HSP(Highly Sensitive Person)に親しみをこめた呼び方。HSPとは、周囲の刺激に敏感で、まろりの気づかない小さなことにもよく気づく気質の人のことです。そんな織姫さんの日常を、シチュエーション別に書いた時々な対応をまとめたいいのか、具体的な面白い話しや体験談を綴った一冊です。

就職が目前に迫っている女子学生に聞きました!

(岐阜市立女子短期大学1・2年生72名にアンケート)

Q かわいい、憧れる大人のイメージは?

1位 経済的に自立している
2位 自分の意見を持っている
3位 長所・精神的に自律している
・芯がある
・知識がある

Q かわいい、憧れる職業は?

1位 医師 2位 警察官 3位 医師・検視

Q 就職に対する不安は?

1位 職場での人間関係 2位 入社前後のギャップ 3位 給料

卒業後は自動車販売の営業職として働く予定。楽しみでもあるけれど、営業は男性ばかりと聞いているから、ちょっと不安。どうして女性は少ないのかな?

自分に合う仕事を見つけたくて、色々な職業を調べてみた。希望職は性別のこだわりがあると聞かされた。

手に職をつける仕事がしたいと思いついた。女性が多い職種を調べてみた。卒業後は通商で就職しようと思う。

今コロナの影響で行けないけれど、働きながら留学の準備をためていこうかな。

INFORMATION

岐阜市女性センターはこんなところですよ

男女共同参画社会の実現を推進するための拠点施設です。
JR岐阜駅高架下の東エリアにあり、交通の便の良いところです。どなたもお気軽にお立ち寄りください。

学びたい	知りたい	交流したい	困った
男女共同参画社会の事例を自らして、意識や女性の活躍意識となる機会を提供しています。	男女共同参画に関するさまざまな情報や啓発品などの発行、啓蒙の発信をしています。	市民参加型交流会や市民・学生団体・事業者と連携したネットワークを形成しています。	女性に関するさまざまな問題に、女性経営者や弁護士が相談に応じます。

編集・発行 岐阜市女性センター
指定管理者：(公財)岐阜市教育文化振興事業団
ホームページ 岐阜市女性センター

〒500-8521 岐阜市橋本町1-10-23
ハートフル東エリア内 G1
TEL:0581268-1052

2022年3月発行

でかけてみませんか!



直撃インタビュー
しました!



「自分らしく働く」って何だろう?

憧れる職業の1位にあがった医師と、男性が多い職種である自動車整備士として活躍する女性にお話を伺いました!

岐阜市女性センター・岐阜市立女子短期大学・つぎの未来

文学・文化分野

- ・地域文化研究への助言
- ・韓国語、中国語の学び
- ・日本文学の学び

4)これまでの実績および事例紹介



食物分野

- ・食文化に応じたメニュー提案
- ・調理や食の最新情報提供
- ・地域食材活用アドバイス

4)これまでの実績および事例紹介



デザイン分野

- ・繊維製品新規開発への助言
- ・コンテストへの参加
- ・産地の持つ技術を生かすアイデア提供

5) 新たな案件紹介



【ご参考】 昨年度の新商品開発の概要

《全体像》 「町民共創型」による新たな特産ブランドの創出を目的としたワークショップ

「町民×プロフェッショナル×生産者」の共創による、「新たな特産ブランド開発」を目的とした全5回のワークショップを実施しました。ワークショップでは、3グループに分かれ、プロ講師の講義、グループワーク等を通し、共創メンバーによるアイデアの具現化に挑戦。その結果、最終回にはメンバーのアイデアが詰まった「3商品」を発表しました。

ファシリテーター

信州大学 特任准教授・
OKB総研 地域活性化PJ

大里 裕幸



特別プロ講師

スノーピーク
西野 将



プロフェッショナル



U.I.I&
ピストロブーコチーム



ル・ルパンブルー



一般参加者
6名



山本佐太郎商店 チーム



一松精肉店



一般参加者
6名



リトルクリエイティブ
センター チーム



パティスリー唇



一般参加者
5名

開発商品



認証申請済

ひょうたんベークル



認証申請済

カッパのベーコン



ブラッシュアップ中

養老ブッセ(仮)

「ひょうたんベークル」「カッパのベーコン」はブランド認証申請済
「養老ブッセ(仮)」は次回ブランド認証に向けて、ブラッシュアップ中

・養老町特産ブランドの商品開発(今年度参加予定)

5) 新たな案件紹介

- ・特別講座(ラウンドトーク)「柳ヶ瀬と映画～映画『逆光』公開活動から考える、街の活性化～」
- ・中部電力パワーグリッドとの連携事業(ユニフォームデザイン作成)
- ・フェアトレードタウン垂井推進委員会／フェアトレードデイ垂井実行委員会との連携事業
- ・岐阜薬科大学スピーチコンテストへの参加
- ・岐阜市市民協働推進部および未来へのみちとの共同事業
(女性の学び・働く支援事業 リカレントプログラム)

3. 活動告知

特別講座(ラウンドトーク)

CeNCER 特別講座

主催:岐阜市立女子短期大学地域連携センター
CeNCER (Center for Network Community with Education and Research)
協力:岐阜新聞社、シーシーエヌ株式会社

映画と柳ヶ瀬

～映画『逆光』公開活動から考える、街の活性化～

映画とショッピング

映画『逆光』制作チーム(監督・須藤蓮、脚本・渡辺あや)が公開場所として選んだ柳ヶ瀬商店街。そこにどんな魅力を感じたのか? 岐阜市長、商店街代表者とともに、柳ヶ瀬の魅力について、そして、柳ヶ瀬のさらなる発展のためにどんなことができるのか、考えていきます。

岐阜市立女子短期大学 地域連携センター (CeNCER)
特別講座 (入場無料・申込不要)

日時: 令和04年06月26日(日) 17:30-19:00

場所: ぎふメディアコスモスみんなのホール

■プログラム:

1. 開会挨拶
2. 映画のポテンシャル
*聞き手:後藤栄司(岐阜新聞映画部)
須藤蓮(『逆光』監督・主演)
渡辺あや(『逆光』脚本)
3. ラウンドトーク「柳ヶ瀬と映画」
*聞き手:後藤栄司(岐阜新聞映画部)
須藤蓮(『逆光』監督・主演)
渡辺あや(『逆光』脚本)
水野 琢朗(岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会事業委員)
柴橋 正直(岐阜市長)
鈴木 辰一(岐阜市立女子短期大学専任講師)

■登壇者プロフィール

須藤 蓮

俳優、映画監督。東京都出身。『おいハンサム!!』『ワンダーウォール』『なつぞら』『いだてん〜東京オリムピック騒〜』などに出演。初映画監督作『逆光』がCINEX岐阜で7/16より公開予定。

渡辺 あや

脚本家。兵庫出身。映画『ジョゼと虎と魚たち』(2003)でデビュー。『天然コケッコー』、NHK連続テレビ小説『カーネーション』『その街のこども』『ワンダーウォール』など、良質な作品を世に放っている。島根県在住。

水野 琢朗

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会事業委員。俳優。月屋代表取締役。柳ヶ瀬商店街で、紳士オーダー専門店「サツマナー」で営業。

柴橋 正直

第21代、第22代岐阜市長(現在2期目)。京都府出身。早立岐阜高校、大阪大学文学部卒業。UFJ銀行、衆議院議員を経て現職。趣味はマラソン、バレーボールなど。軽スポーツを通じて人と交流すること。座右の銘は、「無私」。

4. 質疑応答

5. 閉会の挨拶

以下、補足資料

12: なぜ今、CeNCERが必要

■変化する社会への対応のため

急速に、多様に、**変化が高まる社会**(VUCA)においては、
社会課題そのものに気がつかないことや、
解決策を見つけ出すことが難しくなりつつあります。

CeNCERは、**実社会の中からそうした課題を発見し**、
それに対して**課題を解決していくプロセスを、支援**します。

* VUCA・・・社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況

V: Volatility(変動性) U: Uncertainty(不確実性)

C: Complexity(複雑性) A: Ambiguity(曖昧性)

13: なぜ “ Network Center “ が必要

■さまざまな方とのコラボレーションのため

これまでも岐阜市立女子短期大学は、
社会と接点を持ちながら数々の社会貢献を行ってきました。

一方で、複雑で不確実性の高まる現代社会においては、
より多角的に、複眼的に、社会を捉える必要性も高まり、
これまで以上に社会との密接な関わりが求められる時代にもなってきました。

学内の研究者相互の連携、学内と学外のNetworkを作ります。

■ 公平公正な社会を実現するため

研究者は、誰かの利益のためではなく、
人類にとっての真理に即しているかという目線で活動しています。

教育も、公平公正の前提で行われます。
学生の成績や、教育を行う教員の評価も、
公平公正のもとに行われるべきですので、
我々は、常に客観的な公平性を大切にしています。

公平公正を見極める目を養えるのは、
研究と教育の両方の立場があるからです。

■これまでの価値観や、方法にとらわれないため

社会と技術が変化する時代には、

正しいとされる事すら疑うことが必要です。

研究者は常にそういった環境で鍛えられており、

また、同時に先見性や斬新性も求められています。

そうした環境で鍛えられた研究者が教育し、

そこで学ぶ学生にその姿勢を見せるのが大学の教育です。

つまり、過去に体系づけられた論理に新しさや独自性を付与する姿勢を、

学生たちが肌で感じ身に付けることが恵まれた大学環境です。

■研究成果の還元による社会貢献のため

研究には、その成果がすぐに目に見えるものと、長い年月がかかるものがあります。

何れにしても、それは日々の研究成果の地道な蓄積によりなされます。

研究は、成果として現れる前であったとしても人をワクワクさせるものですし、だからこそ研究者は日々研究を続けられるのです。

こうした地道な部分を社会に示すことも研究者の役割です。

研究成果を社会に還元することで、社会から研究成果へのフィードバックを得られ、さらなる社会貢献につながります。

■次世代の社会を担う人材育成のため

大学の社会連携は、
単に、若者が社会との関わりを持つことだけが目的ではありません。

教養と専門性の基礎を備えた目を持つ者が、
目の前の社会を見て、何かを感じ、
他分野の教育者と共に議論し、考えることが、
未来を作ることにつながります。

4: CeNCER の 活動理念

“日常の傍らや近い未来の社会課題を、
地域発展の糸口へと転換すること”

劇的な変化を続けている社会の未来を预言する存在よりも、
身近にある事象に目を向け、丁寧に接しながら、
豊かな社会を実現する糸口を見つけられる存在が必要ではないか。

日常の傍には、目に見ている困難や、予期せぬ自然災害への備えのように、
さまざまな課題が存在します。それらに対処する、あるいは備えておくことは、
幸福度の高い社会の生活の実現につながります。

5: CeNCER の 活動の2つのコア

岐女短は、文系、理系が融合した地域大学です。
約30名の多分野にわたる研究者が日々研究を行いながら、
400名以上の学生に、教養教育および専門教育を行なっています。

CeNCERは主に、

1. マッチング

社会課題に対するマッチングを行います。
また、多分野の研究者による、分野横断型の連携を支援します。

2. 顕在化

学外からは見えづらくなっている大学研究者のシーズを顕在化し、
外部の方がアクセスしやすい環境を作り、連携を促します。

8: CeNCER の 活動内容

連携対象

地方自治体
岐阜市、岐阜県、
羽島市、大垣市、
岐南町、一宮市など

教育機関
大学、
高等学校、
小・中学校、
幼稚園など

地域（市民等）
自治会、
町内会など

企業
地元企業、
市外企業、など

マ
ッ
チ
ン
グ

岐女短

CeNCER

（マッチング）

- 連携要望の一元的な受付
- 連携事業の精査
（公共性、将来性など）
- 事業の配分
- 学科からの情報集約
- 教員と連携対象との橋渡し

（顕在化）

- 大学の知・技術の売り込み
- CeNCER年報の作成
- 地域連携事業のPR

（センシング）

- 海外、他大学との連携の模索
（Polimoda, Hetzendorfなど）

（管理・運営）

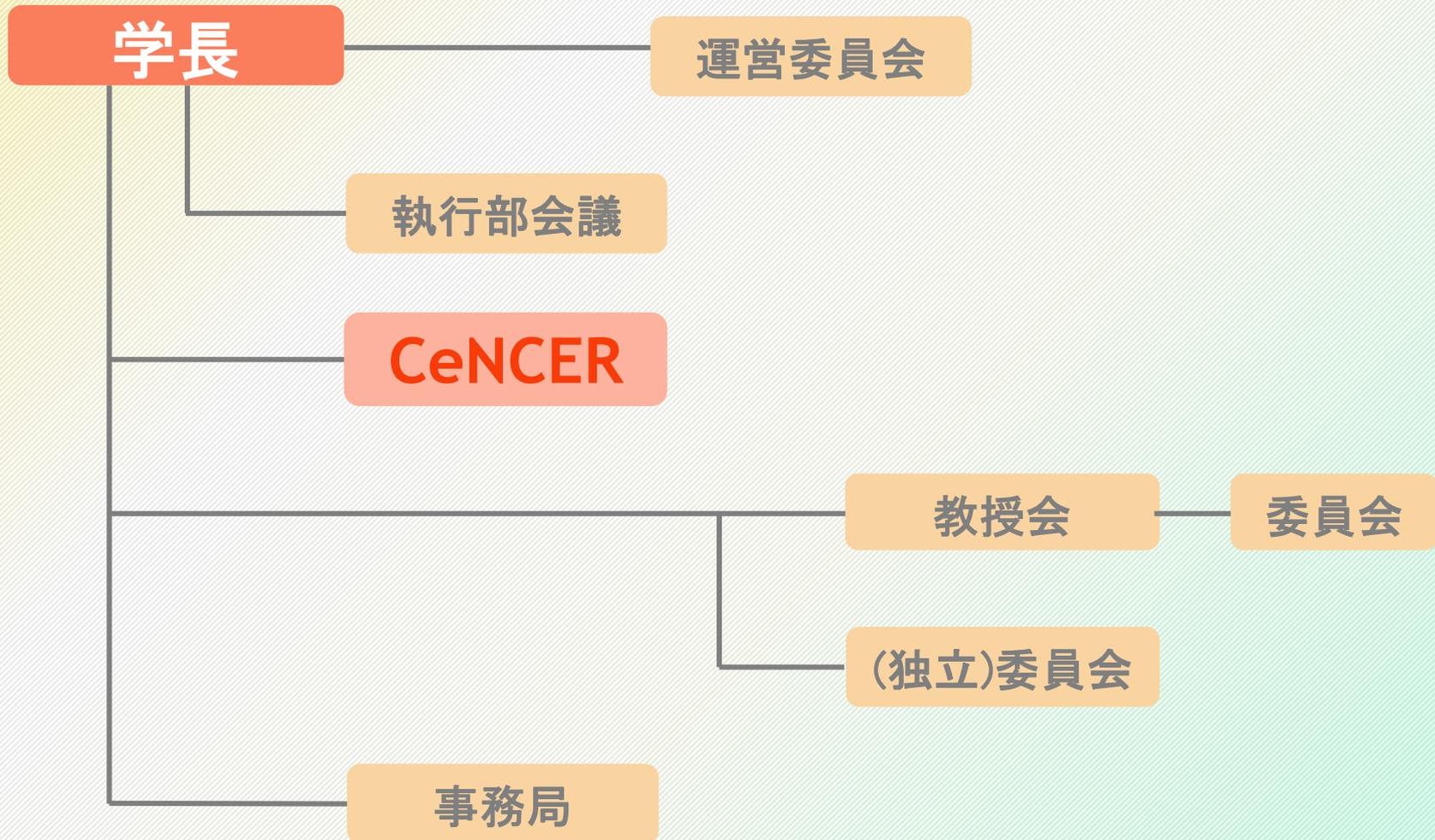
- 協定、規程の整備、改正
（Peninsula等）

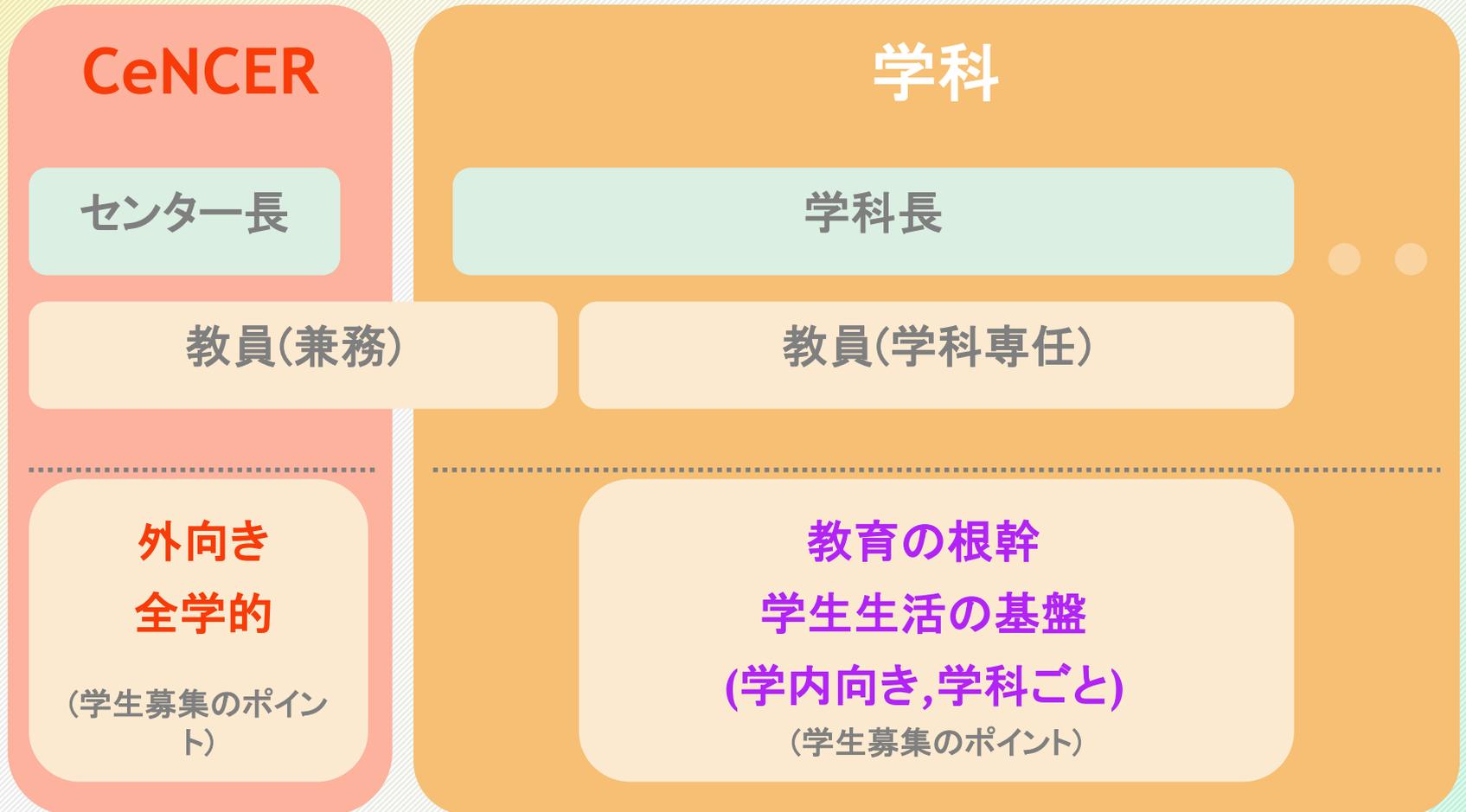
マ
ッ
チ
ン
グ

教員

学生

9: CeNCER の位置付け





11: CeNCER の業務

内容	分類		兼務教員	学科専任教員
全学の業務		研究	○	
		社会貢献	○	
		入試・面接	○	
		ポートフォリオ	○	
	授業	授業	○	
		備品点検調整	○	
外向き 全学的	マッチング	連携要望の一元的な受付	○	×
		連携事業の精査と事業の配分	○	×
		学科からの情報集約	○	×
		教員と連携対象との橋渡し	○	×
	顕在化	大学の知・技術の売り込み	○	×
		CeNCER年報の作成	○	×
		地域連携事業のPR	○	×
	センシング	海外、他大学との連携の模索	○	×
	仕組み	協定・規程の整備改正	○	×
	分担業務	異なる目的	学生確保OC	●連携の紹介
学外研修			●全学の学生	●学科の学生
企業訪問			●連携のため	●学生の就職
教育の根幹 学生生活の基盤 (学内向き, 学科ごと)	大学内運営	委員会	×	○
		学生生活	×	○
	学科教育	海外研修	×	○
		卒業研究発表会	×	○
		検定実施	×	○
		資格認定校対応	×	○

4)これまでの実績および事例紹介



英語教育分野

- ・小学校教員への英語指導
- ・英領英語のトレーニング
- ・舞台芸術で英語指導